

2021年7月20日発行

発行責任者 本山 公之  
編集 広報部

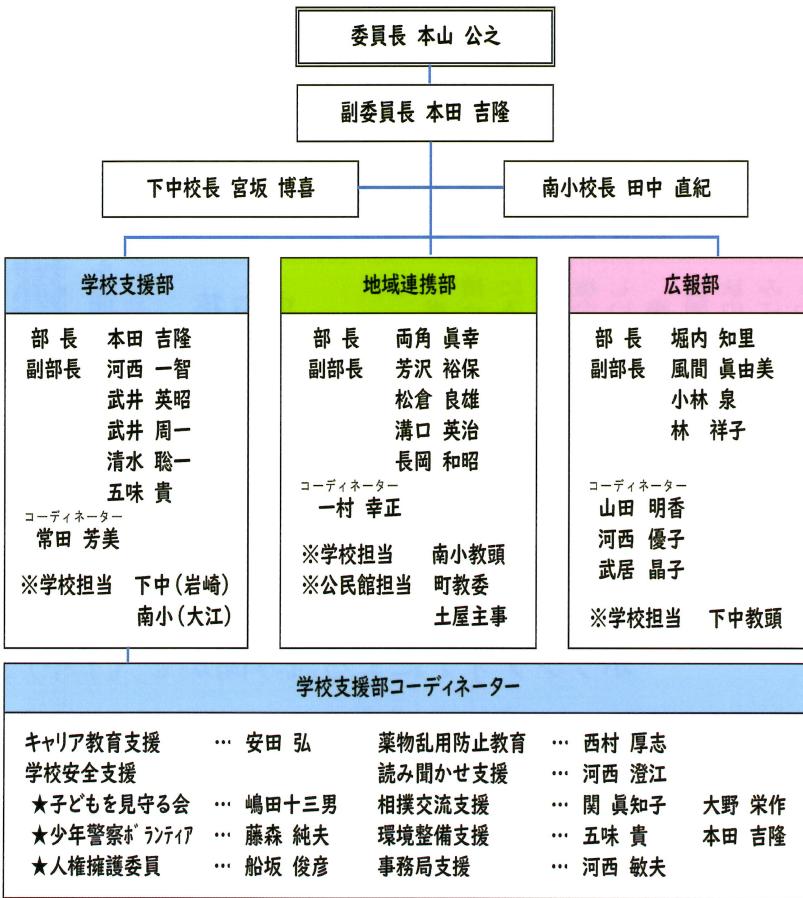
なぎがまCS事務局

下諏訪中学校 ☎27-3000

下諏訪南小学校 ☎27-5000



## 令和3年度なぎがまコミュニティスクール組織図



一昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、この四月に第4波が襲来し、感染予防のさらなる徹底が求められています。学校では子どもたちの安心安全を守り、コロナ禍であつても充実した学校生活が送れるよう新型コロナウイルス感染防止のための対応策（①感染しないための指導 ②集団感染リスクへ

の対応 ③感染者や濃厚接触者が発生した場合の対応 ④子どもたちの心のケア）を講じています。さて、なぎがまCommunityスクール（以下なぎがまCS）は令和3年度学校運営委員が決定し、すでに活動を開始しております。組織図をご参照下さい。各学校の教育目標【南小…進ん

でかかわり、ともにやりぬく子ども】【下中…なぎがま精神・開拓精神】～自主・自立の精神～を目指す子どもたちのため、また地域で活躍する子どもたちのために、なぎがまCSは学校や地域の活動支援をしていきました。地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和三年度 なぎがまCommunityスクール運営委員  
求められる感染予防対策

なぎがまCommunityスクール委員長  
本山 公之

まだ終息の見えないコロナ禍の中、南小下中の子どもたちも先生方も、蔓延防止のためにびのびとした学校生活が送れていないことは残念であり悔しく感じております。昨年度より委員長を務めさせて頂いていますが、昨年はなぎがまCSの活動も縮小せざるを得ませんでした。幸いにも下諏訪町は感染拡大が抑えられておりました。現在も多くの皆様に支えられ活動しております。発足当時のこのCSの役割を改めて確認し合いながら、子どもたちを支援していくことを第一に考え学校と関わって行きたいと思います。なぎがまCSも七年目を迎えました。現在も多くの皆様に支えられ活動しております。発足当時のこのCSの役割を改めて確認し合いながら、子どもたちの活動には心配、不安がます。コロナ禍での活動には心配、不安がます。一年間ご協力をよろしくお願いします。

## なぎがまCSに寄せる想い

下諏訪南小学校校長

田中  
直紀

先日、なぎがまCSの運営委員会に初めて参加しました。そしてなぎがまCSの運営委員会では、コロナ禍の中につけても、子どもたちのために何ができるか、とても熱心に討議されました。その中でも「区と分館の予定を子どもたちとも共有してはどうか」という意見にはとても驚きました。「なぎがまCSの皆さんは、子どもたちのことを守り、育てよう」というだけでなく、自分たちの仲間としても見てくださっているのだな」ということを感じたからです。子どもたちもきっと、地域の仲間として認められていることを感じていることだと思います。私も本年度から、なぎがまCSのお仲間に入っていました。南子の健やかな育ちのために、皆様と共に活動できることを楽しんでいます。どうか、よろしくお願ひいたします。



花岡さんから摘花を学ぶ様子



どれを摘むか摘まないか…見分けがむづかしい

赤砂崎公園北側のりんご畑で、毎年恒例の乙女リンゴの摘花作業を行いました。子どもたちはまず赤砂果樹研究会と下諏訪町産業振興課農林係の皆さんから『おいしいりんごのかな』についてお話を聞きました。

花作業では中心花を残し、周りの花を摘むことが大切です。』という説明をしてくださいました。

この日は曇り空で肌寒い中の作業でしたが、子どもたちの手の平より少し小さく真白な花は青々と茂った緑の葉っぱの中にたくさん咲いていました。子どもたちはどの花を摘んで良いのか戸惑つたり、背伸びをして一生懸命に手を伸ばして花を取ろうとしたりしていましたが、摘花作業も終わる頃には摘み取る花は、自分で選んで踏み台に上って丁寧に摘花作業ができるようになっていました。

赤砂果樹研究会会長の花岡清さんは、「自分たちの口に入るものが、どのような過程で育てられているかをこの機会に子どもたちに学んでほしい」と話されました。

摘花作業の大変さを初めて経験した子どもたちでしたが、秋の収穫作業がますます楽しみになったのではないでしょ

**南小**

## リンゴの摘花に挑戦

～摘花作業を通して学ぶ～



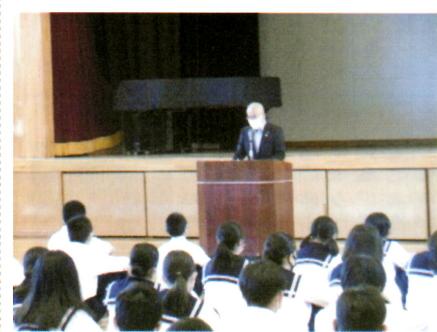
## 学校支援部ルポ

### 乙女リンゴ摘花作業体験（南小）

### ボランティアによる読み聞かせ（下中）

**下中**

## 読み聞かせ支援



宮坂町長による読み聞かせ

武田信玄と諏訪御料人の息子、武田勝頼と諏訪地域との歴史的関係や伝承を、ご自身でまとめられたそうです

### ～校舎に流れる語りの声～

以前より支援活動に参加して頂いております宮坂町長が、講堂に集まつた三年生にご自身の論文を発表してくださいました。

くださいました。諏訪大社下社、承知川、慈雲寺、久保街道など、下諏訪の身近な場所の話に思いを馳せた子どもたちも多かったのではないかと感じました。

くださいました。中図書館で発足会が行われ、下

大予防のため、二年ぶりとなる六月九日、下諏訪中学校で“読み聞かせ支援”的活動が始まりました。昨年は朗読テープでの開催であったため、対面での支援に十数名の方が参加してくださいました。

一・二年生は各教室での読み聞かせとなり、川端誠作「らくごえほん ごんべえだぬき」向田邦子作「字のないがき」など読み手の思いがして下さい」と話されました。

こもった本が読まれ、静かな堵の表情を浮かべて感想を話して下さいました。

河西澄江会長をはじめ読みかせ支援の皆様、今年度もよろしくお願ひいたします。

活動のスタートを喜び合い会の終了となりました。河西澄江会長をはじめ読みかせ支援の皆様、今年度もよろしくお願ひいたします。



各教室での読み聞かせの様子

## 編集後記



発足会では緊張の面持ちが安堵にかわり学校での活動への思いが交わされました